

1. 装置構成

当社から網同期クロックを供給する場合の装置構成例を 図 - 1 及び 図 - 2 に示す。

2. クロックの種類

当社から供給可能なクロックを次に示す。

- ・ 64kHz + 8 kHz AMI
- ・ 64kHz + 8 kHz + 0.4kHz AMI
- ・ 6.312MHz 正弦波
- ・ 1.544MHz 正弦波

3. 物理的条件

(1) 図 - 1 の装置構成にて網同期クロックを供給する場合

- ・ 「64kHz + 8 kHz AMI」及び「64kHz + 8 kHz + 0.4kHz AMI」の場合は、当社仕様のACバスケーブルを使用する。
- ・ 「6.312MHz 正弦波」及び「1.544MHz 正弦波」の場合は、当社仕様の3C - 2T同軸ケーブルを使用する。

(2) 図 - 2 の装置構成にて網同期クロックを供給する場合

- ・ 技術的条件集別表6及び別表6.1に示すとおりとする。

4. 信号規定

(1) 出力信号規定

出力信号規定を 表 - 1 に示す。

表 - 1 出力信号規定

項目	規定内容
6.3M Hz クロック分配部	75 純抵抗終端に対して ・出力レベル : 0 dBm ± 3 dB 以内 ・モニタレベル : -40dBm ± 4 dB 以内
1.5M Hz クロック分配部	75 純抵抗終端に対して ・出力レベル : 0 dBm ± 3 dB 以内 ・モニタレベル : -40dBm ± 4 dB 以内
64kHz+8kHz クロック分配部	110 純抵抗終端に対して ・振幅 : $1V_{0-P} \pm 0.1V$ 以内 ・半値幅 : $7.8 \pm 0.78\mu s$ 以内 ・出力波形 : 図 - 3 による ・MON ジャックレベル : 送信パルスのレベルに対して $-26 \pm 2 dB$ 以内
64kHz+8kHz+0.4kHz クロック分配部	110 純抵抗終端に対して ・振幅 : $1V_{0-P} \pm 0.1V$ 以内 ・半値幅 : $7.8 \pm 0.78\mu s$ 以内 ・出力波形 : 図 - 4 による ・MON ジャックレベル : 送信パルスのレベルに対して $-26 \pm 2 dB$ 以内

(2) 入力信号規定

入力信号規定を 表 - 2 に示す

表 - 2 入力信号規定

項目	規定内容
6.3M Hz クロック受信部	6.312 MHz クロック受信機能において + 3 ~ - 16dBm の入力 6.312 MHz に対して正常に動作すること。 なお、当社クロック供給装置 (CSM 基本架) と直接協定事業者伝送装置の架間距離は 400m以内とする。
1.5M Hz クロック受信部	1.544 MHz クロック受信機能において + 3 ~ - 10dBm の入力 1.544 MHz に対して正常に動作すること。 なお、当社クロック供給装置 (CSM 基本架) と直接協定事業者伝送装置の架間距離は 400m以内とする。
64kHz+8kHz クロック受信部	64kHz クロック受信盤及び位相調整用品において振幅 0.63 ~ 1.1V _{0-p} の受信パルスに対して正常に動作すること。 なお、当社クロック供給装置 (CSM 基本架) と直接協定事業者伝送装置の架間距離は 400m以内とする。
64kHz+8kHz+0.4kHz クロック受信部	0.4kHz クロック受信盤及び位相調整用品において振幅 0.63 ~ 1.1V _{0-p} の受信パルスに対して正常に動作すること。 なお、当社クロック供給装置 (CSM 基本架) と直接協定事業者伝送装置の架間距離は 400m以内とする。

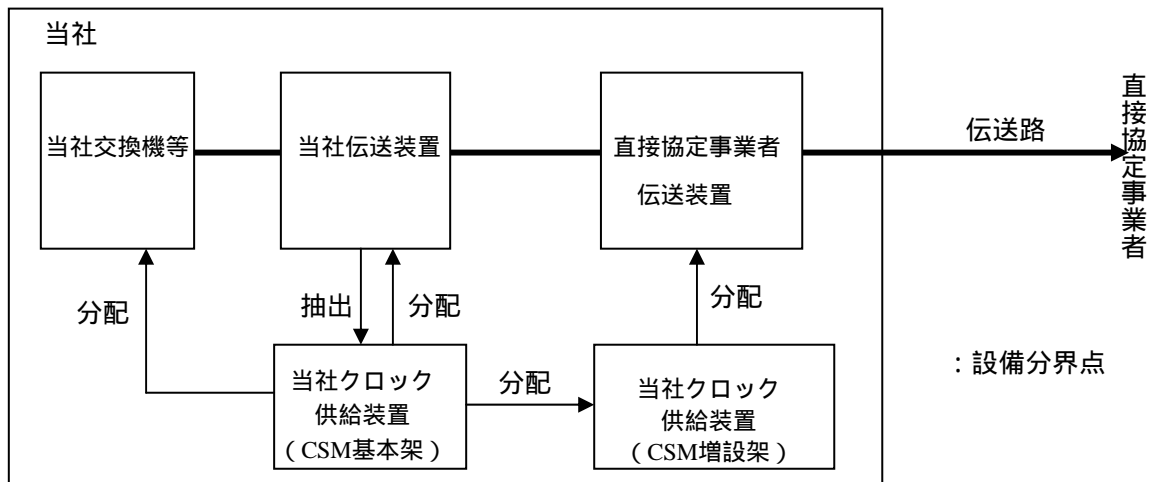


図 - 1 通信用建物内に直接協定事業者の伝送装置を設置した場合の装置構成例

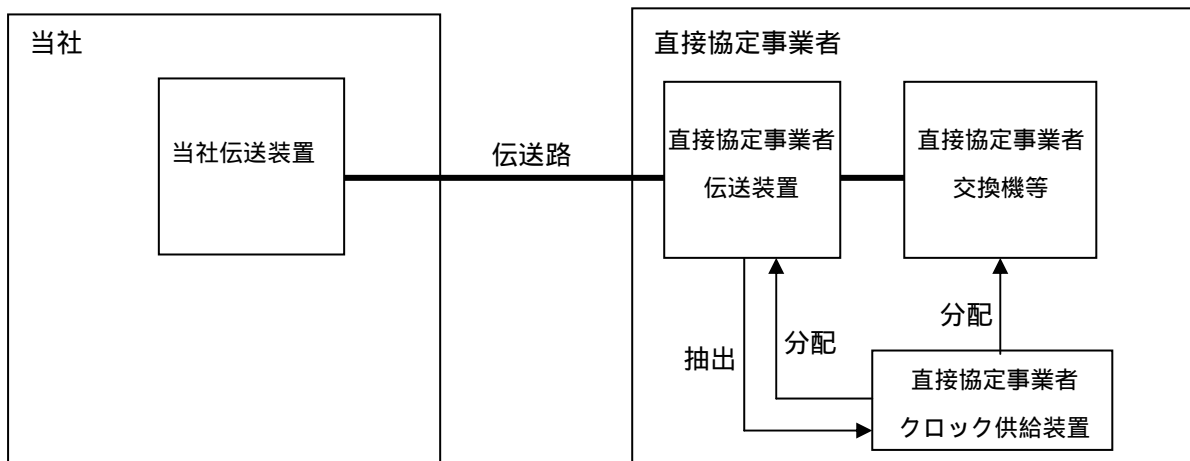


図 - 2 通信用建物内に直接協定事業者の伝送装置を設置しない場合の装置構成例

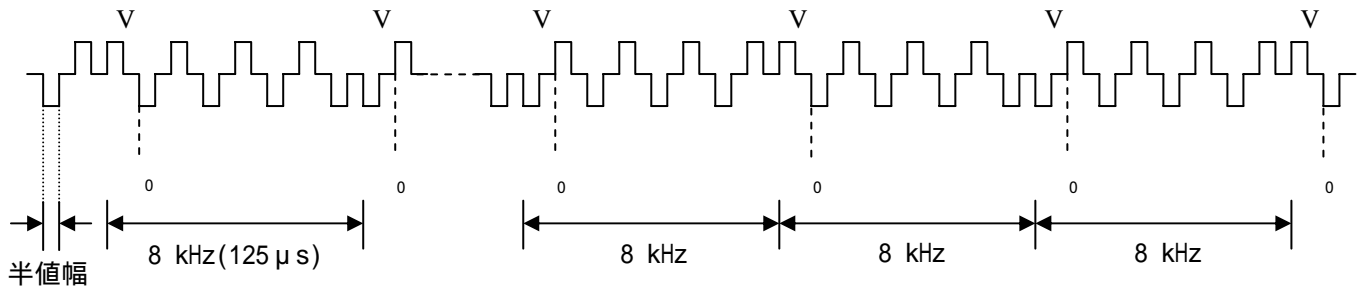


図 - 3 64kHz + 8kHz 複合バイポーラ信号波形

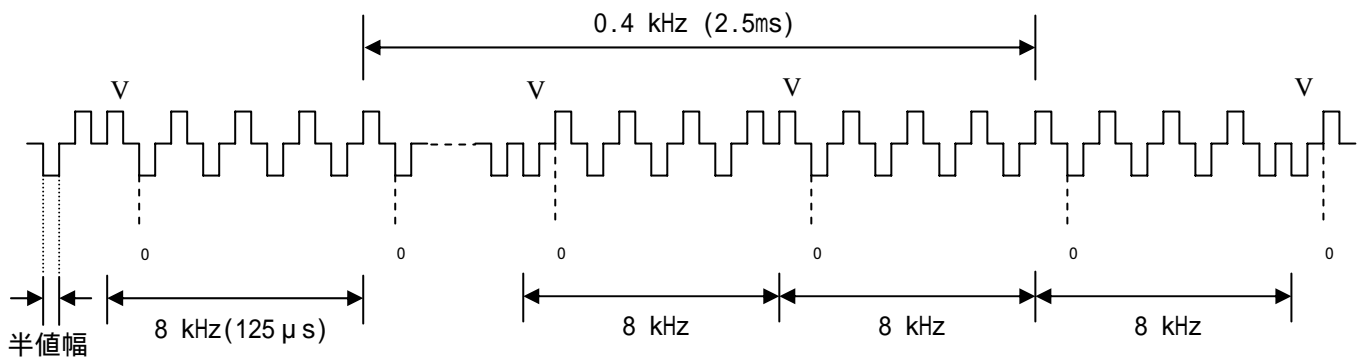


図 - 4 64kHz + 8kHz + 0.4kHz 複合バイポーラ信号波形